



# 学校だより

令和8年 4月 28日

No. 2 5月号

横浜市立瀬谷第二小学校

校長 小池 靖彦

学校教育目標

**友情わく かわく 希望わく 毎日わくわくする学校**

## 子どもたちの優しさ

～わたし・ぼくの学校をつくる～

校長 小池 靖彦

新学期が始まり、早くも一か月が過ぎました。新しいクラスでの活動にも慣れ、友達同士の関わりや先生とのやり取りの中に、子どもたちのいきいきとした姿が見られるようになってきました。先日の「1年生を迎える会」では、6年生の温かいエスコートに導かれて、1年生が少し緊張しながらも嬉しそうに入場しました。学校生活について質問すると「楽しい～!」、給食はどうですかと聞けば「おいしい～!」と、満面の笑みで一斉に返す声が校庭に広がりました。誰かに言われたからではなく、自然と生まれる子どもたちの優しさ。特に6年生をはじめ、日常の中で互いを思いやる姿は、瀬谷第二小学校の子どもたちの大きな魅力です。こうした温かい関わりが、学校全体の雰囲気をもより豊かにしていきます。

学校では、今年度もこのような子どもたちの良さを、さらに伸ばしていけるよう進めてまいります。また、保護者の皆様をはじめ、地域・学校協力者の皆様とも共有し、学校だけでなく、家庭や地域の中でも子どもたちの優しさをより広められたら思っております。

さて、この時期になると、多くの学年やクラスで、4月からの学校生活を振り返りながら、自分たちによる、学年目標や学級目標について話し合う姿が見え始めます。子どもたち相互の理解が進み、クラスの雰囲気づくりも進んでいる今だからこそ、生まれてくる前向きな言葉や思いがあります。学校行事や学年行事を通して感じたこと、友達との関わりの中で気づいたことをもとに、「こんな学年にしたい」「こんなクラスでありたい」と、自分たちなりの言葉で語り合う姿はとても頼もしく、子どもたちの成長を実感する瞬間でもあります。

これからも、「学校だより」「学年だより」などを通して、子どもたちの様子や学校の取組を保護者の皆様、地域の皆様にお伝えしてまいりたいと思います。

子どもたち一人ひとりが、安心して学び、仲間とともに成長していける環境づくりは、学校全体で大切にしていることです。日々の小さな優しさや前向きな姿勢を価値づけながら、子どもたちが「わたし・ぼくの学校」をつくっていく喜びを味わえるよう、教職員一同、力を合わせてまいります。

引き続き、瀬谷第二小学校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。